

令和2年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<可茂地区> 八百津中学校 八百津東部中学校 八百津高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組




(1) 連携型中高一貫教育の目標

「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成」～こつこつと学習に取り組み、まじめに生活を送る態度を育てる～
1. さらなる連携の推進 2. 確かな学力をつける 3. 生きる力を育む






(2) 連携型中高一貫教育の令和2年度の重点

- ① 発達段階に応じたキャリア教育を進めるとともに、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを、高校でのデュアルシステムに繋げる工夫をさらに進める
- ② チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める
- ③ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題	
さらなる連携	キャリア教育の推進	<p>○中高ともに近隣地域での職場体験活動を実施することはできなかったが、八百津高校2年生の希望者16名はコロナ禍にあっても企業の協力で毎週木曜日にデュアル実習を実施することができた。</p> <p>○中学生体験入学、オープンスクールの際に「デュアル説明会」を実施して連携中学校からは両日で21人が参加した。</p> <p>▲デュアルシステムの成果を連携中学校や地域に効果的に伝える方法の検討(オンライン中継等)</p>	 <p>【デュアル実習風景】</p>
	連携型入試の取組推進	<p>○チャレンジテストの継続的な取組、高校側による定期的なチェックと指導を行うことができた。</p> <p>○実力養成セミナーを連携の2中学校それぞれを会場として実施できた。</p> <p>▲生徒・職員へのチャレンジテストの重要性の周知</p>	 <p>【チャレンジテストチェック】</p>
	相互理解の推進	<p>○連携中学校3年生体験入学や連携中学校保護者見学会等で連携中学校卒業生による説明や交流の場面を設定した。</p> <p>▲継続的で分かりやすい発信方法を模索する。(進路説明会、PTA見学会、学校広報、ホームページ、ケーブルテレビ、新聞報道等)</p> <p>▲部活動での連携</p>	 <p>【体験入学での交流会】</p>

(様式 5)

確かな学力	交流授業の充実	<p>○高校の授業公開により高校生のつまづきを把握することで、中学校段階で何に留意すべきか等について共通認識できた。</p> <p>○T Tによる交流授業は教師が生徒の実態把握がしやすく、指導を受ける生徒にも効果がある。</p> <p>○東部中学校への出前授業の回数を増やすことで生徒は高校での学習に興味を高めていた。</p> <p>▲生徒の能動的な学びを引き出すT T指導のあり方、出前授業の内容の検討</p>	 <p>【交流授業】</p>
	6年間を見通した指導の充実	<p>○中高連携実力養成セミナーを2中学校を会場に実施し、計32人が夏休みの3日間セミナーに参加した。</p> <p>▲実力養成セミナーの2中学校別の3日間開催の日程調整と参加者募集</p>	 <p>【夏休みセミナー】</p>
	チャレンジテストの充実	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八百津高校教員が八百津東部中の1年生に対して出前授業を実施し、チャレンジテストの重要性を説明した。 <p>▲課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジテストの重要性について中学生及び保護者の方に理解していただくための努力の継続 	 <p>【チャレンジテスト】</p>
生きる力	地域や異校種間連携の強化	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八百津町の社会福祉協議会が主催した「学びのゆうゆう夢広場（子ども学習支援事業）」にボランティアとして八百津高校生が参加し夏休みの5日間小学生に対しての学習支援を行った。 <p>▲課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動参加の魅力の発信と参加への働きかけ 	 <p>【ゆうゆう夢広場】</p>
	人道教育の強化	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携中学校出身者にとって杉原千畝は身近な存在である。しかし、他の中学校出身者も多いので八百津高校1年生全員に対して杉原千畝についての学習をイスラエル出身の方を講師に招いて、人道教育を行った。 <p>▲課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人道教育での学びを日常の場面に生かすための実践力の育成 ・地域や行政との日常的な連携の維持・強化 	 <p>【人道教育の講話】</p>

(様式 5)